

# 長崎新聞

発行所  
長崎新聞社  
長崎市茂里町3-1 〒852-8601  
©長崎新聞社2020



## 3月26日 (木) 大安

(旧暦3月3日)

総合案内 (095)844-2111  
報道部 (095)846-9240  
広告部 (095)844-4874  
事業部 (095)844-5261

販売部 (095)844-5063  
読者相談室 (095)844-2139  
開発センター (095)844-7793  
佐世保編集 (095)622-9145

### 佐世保近郊

県北 対馬 舌岐 五島

#### 婦人用の下着を生産

## 佐世保から世界へ

工業会企業の「技術力」

わずかに3割。時代の流れにあらがうように「メイド・イン・ジャパン」の灯を守り続けている。

懐かしさを感じさせる木造平屋の建物。小佐々町の旧校舎では、女性たちがミシンを使って婦用ブラジャーのパーツを縫い付けていた。別の部屋では、30枚積み重ねた生地ハモットの型に裁断。「海外産はもっと重なるので、それが生じて製品が均てなくなる。」渡邊敬一代表取締役CEO(50)は強調した。国内工場があるため、サイズやカラーなど需要や流行に素早く対応できている。日本の女性が洋装を着



ミシンを使って夜用のブラジャーを縫う社員  
—佐世保市小佐々町、小佐々渡辺(山下哲朗撮影)

### 渡辺商店

## メイド・イン・ジャパンの矜持

は、賃値がなかつた1993年9月、祖父の渡邊吉民が佐世保市で創業した「SUBROSA サブ・ロー」化とともに、商品も多様化。セのブランドで婦用のキヤンシールや肌着などを製



型に合わせて裁断された布製マスクのパーツ

本社は名古屋市中区、縫製工場はローゼンワークス(佐世保市小佐々町)と小佐々渡辺(佐世保市小佐々町)の2工場を擁する。1978年に創業した。渡邊敬一代表取締役CEOは3代目。従業員は114人(うち佐世保市内89人)＝3月現在。主な取引先はイオン、ユニクロ、モンベル、メナード化粧品など。ドのスポーツ用ブラのM(相手をブランドによる生産を手助け)、体形維持を目的に、寝る際に着けるナイト(胸カバー)は、形崩れにくい布生地で開発。カタログハウス誌「通販生活」で4月から取扱いが始まる予定だ。

度脱閉後の75年、旧北松小佐々町に進出した。91年には佐世保市榑木元町にも工場を建設。一方で繊維業界では、中国などに生産拠点を移す企業が増えつつある。渡邊CEOによると、海外産が97%を占めるようになった。「価格を相対的に低く保つていく」が、低価格かつ高品質の「メイド・イン・ジャパン」の矜持を維持する。渡邊CEOは「技術を通じ社会に貢献したい」と語る。

—西村(西村明) 2020年3月26日